

全建発第4-060号  
令和4年 6月15日

地方協会長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会  
会 長 大 石 久 和  
(公印省略)

第683回建設技術講習会（これからの社会インフラの維持管理・更新）  
開催のご案内について

謹啓 本会事業について、平素よりご協力にあずかり厚く御礼申し上げます。

本協会では、標記、建設技術講習会を別紙のとおり、開催いたします。

本建設技術講習会では、インフラメンテナンスに関する施策の体系と今後の展望、橋梁定期点検におけるAI活用の可能性、インフラメンテナンス現場の魅力、道路管理の瑕疵、新たな社会におけるインフラマネジメント、地方公共団体におけるインフラメンテナンスの取り組み、インフラメンテナンスの人材育成などについて学ぶことを目的としています。

つきましては、貴協会の技術力研鑽の活動としてご活用いただきますようお願いいたします。

謹白

(一社) 全日本建設技術協会 事業課 戸村、黒崎 TEL 03-3585-4546 FAX03-3586-6640 MAIL kensyu@zenken.com
--

国土交通省地方整備局 企画部長 殿  
都道府県 建設関係部局長 殿  
市長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会  
会 長 大 石 久 和  
(公 印 省 略)

第683回建設技術講習会（これからの社会インフラの維持管理・更新）  
開催のご案内について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省・農林水産省はじめ都道府県及び市町村等に勤務する建設技術関係者約6万名をもって構成され、建設技術関係者の技術水準及び社会的地位の向上並びに建設技術関係者の連携・交流を図り、安全・安心で豊かな国土づくりに寄与する施策の円滑な推進及び良質な社会資本の整備・保全に資することにより、社会の発展と公共の福祉の向上に寄与することを目的とした団体です。

本会の講習会は、道路、河川、港湾、都市・地域整備等の各部門別の行政課題はもちろん、災害に強い安全な国土づくり、これからの社会インフラの維持管理・更新、Society5.0に向けた公共事業における新技術の活用、公共工事の品質確保と入札契約の適正化、災害復旧、工事積算における動向と i-Construction の取り組みなど、建設事業の実施にあたって特に重要な課題を取り上げることとしております。また、講師には建設行政や建設技術等の各分野において造詣が深い方を迎え、公共事業に係る諸問題解決や実務の習得、最新情報の提供及び現場力向上のための現場視察など業務に直接役立つ内容となっています。

このたびの第683回建設技術講習会では、インフラメンテナンスに関する施策の体系と今後の展望、橋梁定期点検におけるAI活用の可能性、インフラメンテナンス現場の魅力、道路管理の瑕疵、新たな社会におけるインフラマネジメント、地方公共団体におけるインフラメンテナンスの取り組み、インフラメンテナンスの人材育成などについて学ぶことを目的としています。

本講習会は、公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴機関職員が参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。 謹白

## 第683回建設技術講習会のポイント



### 全国で直面している重要課題「インフラの維持管理・更新」

○開催日：令和4年8月24日（水）～8月26日（金）

○開催場所：秋田県秋田市

○テーマ：これからの社会インフラの維持管理・更新

○主な講義内容

- ・「インフラメンテナンスに関する施策の推進」を国土交通本省の講師が体系的に解説！
- ・橋梁アセットマネジメントの事後保全型管理から予防保全型管理へシフト！

「新技術を活用した橋梁維持管理「トータルマネジメントシステム」の取組みについて」

- ・「インフラメンテナンス現場の魅力を伝える」（写真家 山崎エリナ氏）
- ・「地方公共団体への支援～道守養成ユニットの活動～」（長崎大学 高橋 和雄名誉教授）

○現場研修

- ・平面駐車場からSNS映えする「人が主役」のオープンスペースへの転換

「秋田駅西口駅前広場（南側区域）改修事業」〔秋田市〕

- ・県・市連携文化施設を伝統工芸品で演出「あきた芸術劇場整備事業」〔秋田県〕
- ・令和6年度開通に向けて4車線化が進行中「国道13号 河辺拡幅事業」〔東北地整〕
- ・平成29年7月豪雨からの復旧と治水対策を実施中「淀川広域河川改修事業」〔秋田県〕

○交流会（参加予定講師）※今後、参加講師が変更する場合があります

- ・国土交通省 木村講師
- ・写真家 山崎講師
- ・弁護士 細見講師
- ・他

## 第683回建設技術講習会（これからの社会インフラの維持管理・更新）概要 ～維持管理における最新情報と取り組み事例及び公物管理を巡る紛争事例について学ぶ～

会場 …… 秋田市文化会館（小ホール）

〒010-0951 秋田市山王七丁目3番1号 TEL018-865-1191(代)

(1日目)	開場11:40	令和4年8月24日（水）	(敬称略)
12:40 } あいさつ 13:00		秋田県知事 秋田市長 (一社)全日本建設技術協会 専務理事	佐竹敬久 穂積志 泊宏
13:00 } インフラメンテナンスに関する施策の推進 14:30		国土交通省総合政策局公共事業企画調整課 事業総括調整官	木村康博
14:40 } 新技術を活用した橋梁維持管理「トータルマネジメントシステム」の取り組みについて 15:40		鹿島建設株式会社土木管理本部土木技術部 リニューアルグループ 次長	池田真理子
15:50 } インフラメンテナンス現場の魅力を伝える 16:30 ~写真家が見た現場の魅力～		山崎エリナ写真事務所 写真家	山崎エリナ
「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」＜希望者のみ＞（予定） —(調整中)—			
(2日目)	開場 9:00	8月25日（木）	(敬称略)
9:40 } 道路管理の瑕疵について 10:40 ~最近の判決例からみる管理瑕疵～		扶桑共栄法律事務所 弁護士	細見孝二
10:50 } 新たな社会におけるインフラマネジメント 11:50 ~新たな社会におけるインフラ老朽化への、あらたなくみと対応策～		植野インフラマネジメントオフィス 富山市 政策参与 (一社)国際建造物保全技術協会 理事	植野芳彦
13:00 } 県と市町村との協働による持続可能な生活排水処理事業運営への取組 14:00		秋田県建設部 下水道マネジメント推進課 副主幹	佐藤洋
14:10 } 【地域事業の紹介①】 14:30 秋田駅西口 芝生の広場 ~交通から人のための広場へ～		秋田市建設部道路建設課 課長 秋田市建設部道路建設課 主査	有坂昇 三浦聖人
14:30 } 【地域事業の紹介②】 14:50 あきた芸術劇場ミルハス		秋田県秋田地域振興局建設部 副主幹 秋田県建設部営繕課 主査	杉山豪 七尾伸太郎
14:50 } 【地域事業の紹介③】 15:10 秋田河川国道事務所の道路事業について		国土交通省東北地方整備局 秋田河川国道事務所 調査第二課長	本川国博
15:20 } 地方公共団体への支援 16:20 ~道守養成ユニットの活動～		長崎大学大学院工学研究科 インフラ長寿命化センター 特任研究員・名誉教授	高橋和雄
16:20 } 閉会のあいさつ		秋田県建設部長	田中倫英
(3日目)	集合（乗車）8:10	8月26日（金）	【現場研修】
秋田駅東口駐車場（8:30）出発			
→ 秋田駅西口駅前広場（南側区域）改修事業 [秋田市]		→ あきた芸術劇場整備事業 [秋田県・秋田市]	
→ 国道13号 河辺拡幅事業 [東北地整]		→ 昼食（秋田市内）	
→ 秋田空港（14:50）/ JR秋田駅（15:30）着後解散		→ 淀川広域河川改修事業 [秋田県]	
※解散時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合がありますので予めご了承ください。 ※講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。			

全建CPD(継続教育)制度・CPDS(予定)認定プログラム【聴講/現場】全建：8単位(予定)/2.75単位(予定)、CPDS：(未定)

## 第683回建設技術講習会 現場研修事業の概要

### 1 秋田駅西口駅前広場（南側区域）改修事業〔秋田市〕

- ・秋田駅西口において、JR東日本が運営を行っていた平面駐車場の廃止等に伴い、県都の玄関口にふさわしい環境空間として整備した駅前広場。
- ・秋田駅及び西口周辺においては、民間による整備として、秋田駅西口バスターミナルを皮切りに、秋田駅観光拠点が一リニューアルされて大きく様変わりした。
- ・また都市計画道路千秋久保田町線が整備され、官民による事業が着実に進展している。
- ・駅周辺における再開発の動きに伴い、特定の目的を持たない誰もが居心地よく過ごせるオープンスペースとして整備し、人が主役の駅前空間へ転換を図ったものである。

…………… 秋田市中通



### 2 あきた芸術劇場整備事業〔秋田県・秋田市〕

- ・あきた芸術劇場は、県都秋田市に立地する秋田県民会館及び秋田市文化会館の老朽化に伴い、これらに替わる新たな文化施設として整備された。
- ・秋田県、秋田市が協働で整備したあきた芸術劇場には、高い音響性能やステージ機能を持つ高揚感あふれる大ホール（約2000席）と秋田を代表する舞台芸術活動の拠点となる中ホール（約800席）がある。その他、各ホールのリハーサル室としても活用できる2つの小ホールがある。
- ・本施設は、歴史ある千秋公園を背景とした立地にふさわしい配置・外観としたほか、内装には秋田杉を活用し、本県の文化を象徴する施設とした。
- ・本施設は2022年6月にプレオープン。同年9月にグランドオープン予定。

…………… 秋田市千秋明徳町



### 3 国道13号 河辺拡幅事業〔東北地整〕

- ・一般国道13号は、福島県福島市を起点として山形市、新庄市、横手市などを経て終点秋田市に至る主要幹線道路。
- ・秋田市河辺地区は大仙市などの県南地域や岩手県と秋田市を行き交う路線に位置し、約2万台の交通が集中しているため、交通渋滞の解消や生活環境の改善、三次医療施設や秋田空港、秋田自動車道へのアクセス向上による、地域間交流の促進を目的に事業を実施。
- ・事業延長6.6kmの内、3.3km区間について4車線拡幅が完了しており、令和6年度には1.4kmの拡幅延伸に伴う開通を予定。※用地買収が順調に進んだ場合

…………… 秋田市河辺神内～秋田市上北手古野



### 4 淀川広域河川改修事業〔秋田県〕

- ・雄物川水系淀川は、大仙市協和地区を北から南に流下する一級河川で、平成29年7月の豪雨により、日最大雨量383mmの観測史上最大を記録し、秋田県が整備を進めている14km区間全域において、越水・溢水による洪水が発生。
- ・再度災害の発生を防止するため、淀川の上下流一体となって緊急かつ集中的に実施する河川災害復旧等関連緊急事業により、築堤、河道掘削、橋梁改築等を実施し、河道拡幅の治水対策を実施。
- ・事業に当たり、自然生態系にも配慮しており、視察時には、築堤盛土、旧橋撤去を施工中である。

…………… 大仙市協和小種～大仙市協和中淀川



## 第683回建設技術講習会【聴講】の申込みについて ～これからの社会インフラの維持管理・更新～

### 【聴講の申込み】

#### 1. 申込み手続き

申込み時に次の手続きが必要になります。

- ① 申込書の送付
- ② 聴講料の振込
- ③ 現場研修料の振込（現場研修に参加しない場合は不要）

#### 2. 申込み方法

##### ① 申込書の送付

申込書に必要な事項を記入し次のアドレス宛にメールで送付して下さい。

**なお、聴講料等〔下記②及び③〕については、申込締切日の1週間後から振り込みの手続きをしていただくようお願いいたします。**

送付先アドレス [kensyu2@zenken.com](mailto:kensyu2@zenken.com) （メールアドレスに注意してください）

※建設技術講習会のうち、宿泊及び現場研修については、名鉄観光サービス（株）が申込みを受け付けます。

それ以外については、（一社）全日本建設技術協会 事務局が受け付けます。

上記のアドレスに申込書を送付していただくことにより、（一社）全日本建設技術協会 事務局及び名鉄観光サービス（株）に届きます。

##### ② 聴講料の振込

参加者の聴講料を次の銀行口座に振込んで下さい。

三菱UFJ銀行 赤坂見附支店 普通 0311142

口座名義：シャ）ゼンニホンケンセツギジュツキョウカイ

※必ず、お振込人名義（協会名）の前に、開催回数の「683」をつけ加えて下さい。

※振込手数料はご負担願います。

区分	一般 (非会員)	会員		
		正会員	特別会員	賛助会員
通常料金	18,800円	13,700円	13,700円	13,700円
秋田県内の国・県に勤務	13,700円	2,100円	2,100円*2	—
秋田県内の市町村に勤務	2,100円	0円	—	—
東北地区連合会管内の市町村に勤務*1	18,800円	2,100円	—	—
30歳未満	18,800円	2,100円	—	—
学生	0円	—	—	—

※1 政令市職員は除く、※2 特別会員は開催県内勤務または在住の者

※一般/会員の確認をしますので、申込み区分を間違えないようにして下さい。

※割引価格（2,100円）で参加の場合、取り消しはできません。

※会場でのお支払い等のご遠慮願います。

#### （参考）

##### ③ 現場研修料の振込

「第683回建設技術講習会【現場研修】の募集について」に記載されています。

### 3. 申込み締切日

令和4年7月20日（水）正午まで（必着）

（締切日以降に到着したものは受理できない場合があります）

### 4. 変更・取消

#### ① 聴講の申込み内容の変更・取消

申込みの取消しについては下記のように処理いたします。講習会終了後に所属協会指定口座へご返金いたします。なお、振込手数料を差し引いた金額をお振込させていただきます。

取消日	取消料
7日前（8月17日）～前日（8月23日）	聴講料の50%
当日（8月24日）	聴講料の100%

#### ② 現場研修の申込み内容の変更・取消

「第683回建設技術講習会【現場研修】の募集について」に記載されています。

### 5. 新型コロナウイルス感染症への対応

- ・新型コロナウイルス感染症への対策として聴講及び現場研修を通常より少ない募集人数といたします。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止の対応（募集人数、最少実施人数等を含む）については、「第683回建設技術講習会における新型コロナウイルス感染症への対応について」をご参照ください。

### 6. その他

- ・テキスト及び聴講料の領収書は当日受付にて、受講証は講義終了後にお渡しいたします。
- ・参加者には、国内旅行傷害保険を掛けさせていただきます。
- ・事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。
- ・講習会情報については全建ホームページ（<http://www.zenken.com/>）もご覧ください。

### 7. 問合せ先

#### ① 建設技術講習会

聴講の内容・申込み/現場研修の内容

（一社）全日本建設技術協会 事業課 戸村、黒崎

TEL 03-3585-4546 E-MAIL kensyu@zenken.com

#### ② 現場研修の申込み

「第683回建設技術講習会【現場研修】の募集について」に記載されています。

#### ③ 宿泊斡旋の申込み

「宿泊斡旋のご案内」に記載されています。

## 【講習会会場及び現場研修集合場所案内図】

〈講習会会場〉 ※JR秋田駅から約2.7km

JR秋田駅より下記路線バスに乗車。「文化会館八橋球場前」下車すぐ。

西口2番線のりば：県庁中央交通線系統番号140

西口3番線のりば：県立プール線系統番号146・臨海営業所線系統番号145

西口5番線のりば：寺内経由土崎線系統番号120・サンパーク線系統番号133

※上記路線バスは、併せると3分～10分間隔で運行しています。



〈現場研修集合場所〉



## 第683回建設技術講習会における新型コロナウイルス感染症への対応について

令和 4年 6月15日  
(一社) 全日本建設技術協会

このたびの第683回建設技術講習会は、募集人数を減らし、新型コロナウイルス感染症における必要な対策を講じた上で実施することといたしました。

なお、今後の社会情勢等により、実施方法の変更や中止となる場合があります。

その場合には、本会ホームページにて発表するとともに各地方協会等へメールにてお知らせいたします。

第683回建設技術講習会に参加される方は、新型コロナウイルス感染予防にご協力下さい。

### 【募集人数について】

＜講習会＞

1. 聴講の募集人数は、会場収容人数388名のところ190名とします。なお、講習会の最少実施人数を150名とし、人数に達しなかった場合には、講習会（聴講及び現場研修）を中止いたします。

＜現場研修＞

2. 現場研修の募集人数は、使用する大型バスの乗車定員45名／台のところ22名以下／台×8台とし、172名とします。なお、現場研修の最少実施人数を90名とし、人数に達しなかった場合には、現場研修を中止いたします。

※上記1～2については、申込みを先着順といたします。募集人数に達した時点で、申込みを締め切ります。申し込みを締め切った際は、全建HPにてお知らせいたします。

### 【会場での感染予防対応等】

1. 受講者の間隔を十分に確保したゆとりのある座席配置を行います。このため、募集人数が通常より少なくなりますことをご了承ください。
2. 当日の受付は、受講者の皆様と会場スタッフとの接触を極力減らし、スムーズに行えるようにいたします。
3. 講習中でも換気を行う場合がありますので、ご協力をお願いします。
4. マスクの着用をお願いします。なお、会場スタッフもマスクを着用させていただきます。また、適宜、館内の消毒液や洗面所の液体石鹸等による手指消毒にもご協力ください。
5. 発熱や咳など体調不良の場合はご来場を見合わせてください。
6. 講習会場で検温を実施いたしますのでご協力をお願いします。体温が37.5度以上の場合は、受講をご遠慮いただくことをご了承ください。
7. ドアノブや使用機材等の消毒を行います。
8. 講習会終了後、14日以内に感染および感染が疑われる症状が発生した場合は、速やかに全建事務局までご連絡ください。感染者または濃厚接触者と分かった場合は、保健衛生局等への情報提供にご了承ください。保健衛生局等からの聞き取りなどへの協力および要請に対応していただきますようお願いいたします。

### 【現場研修（バス等）での感染予防対応等】

1. バス車内・視察現場等では、参加者の間隔を確保したゆとりのある配席等を行います。
2. バス車内・視察現場等では、参加の皆様と参加スタッフとの接触を極力減らし、スムーズに行えるようにいたします。
3. バス車内は、外気換気モードによるエアコンの使用を基本とし、バス車内換気能力を参加者へご案内します。
4. バス乗降時には、消毒液を用意しますので手指の消毒のご協力をお願いします。
5. バス車内の手すりや使用機材等の消毒を行います。

## 第683回建設技術講習会【現場研修】の募集について

### 1. 日 程：

令和4年8月26日（金）08:30～15:30

集合（乗車）8:10～

秋田駅東口駐車場（8:30）出発

→ 秋田駅西口駅前広場（南側区域）改修事業 [秋田市]

→ あきた芸術劇場整備事業 [秋田県・秋田市]

→ 昼食（秋田市内）

→ 国道13号 河辺拡幅事業 [東北地整]

→ 淀川広域河川改修事業 [秋田県]

→ 秋田空港（14:50）／J R秋田駅（15:30）着後解散

### 2. 募集人数：172名（先着順）

※募集人数に達した時点で、申込みを締め切ります。

※現場研修のみの参加はできません。

### 3. 最少実施人数：90名

※最少実施人数に達しなかった場合には、中止いたします。

### 4. 添 乗 員：（一社）全日本建設技術協会 事務局員と名鉄観光サービス(株)添乗員が同行します。

### 5. 旅行代金：12,100円（税込） ※昼食代1,320円（税込）含む （現場研修料）

### 6. 申込方法：

#### ① 申込書の送付

申込書に必要事項を記入し、申込金〔下記②の銀行振込の控え〕を添えて期限までに次のアドレス宛にメールで送付して下さい。

**なお、申込金〔下記②〕については、申込締切日の1週間後から振り込みの手続きをしていただくようお願いいたします。**

送付先アドレス [kensyu2@zenken.com](mailto:kensyu2@zenken.com)（メールアドレスに注意してください）

※建設技術講習会のうち、宿泊及び現場研修については、名鉄観光サービス（株）が申込みを受付けます。

それ以外については、（一社）全日本建設技術協会事務局が受付けます。

上記のアドレスに申込書を送付していただくことにより、（一社）全日本建設技術協会事務局及び名鉄観光サービス(株)に届きます。

#### ② 旅行代金（現場研修料）の振込

参加者の旅行代金（現場研修料）を次の銀行口座に振込んで下さい。

三菱UFJ銀行新東京支店 普通 3318333

口座名義：メイテツカンコウサービス（カブ）

※必ず、お振込人名義（協会名）の前に、開催回数の「683」をつけ加えて下さい。

※振込手数料はご負担願います。

※会場でのお支払い等をご遠慮願います。

### 7. 申込締切日：令和4年7月20日（水）正午まで（必着）

（締切日以降に到着したものは受理できない場合があります）

8. 取 消 料 :

取 消 日	取 消 料
10日前～8日前	研修料の 20%
7日前～前々日	研修料の 30%
前日	研修料の 40%
当日	研修料の 50%
無連絡不参加及び開始後	研修料の 100%

9. 申込のお問合せ :

名鉄観光サービス(株) 全建担当デスク    Mail: zenken@mwt.co.jp    TEL 03-3343-0631

10. 視察内容のお問合せ :

(一社) 全日本建設技術協会 事業課 戸村、黒崎  
Mail: kensyu@zenken.com    TEL 03-3585-4546

11. 旅行企画実施 :

名鉄観光サービス(株) 新宿支店 東京都新宿区西新宿1-19-8 新東京ビル6階  
観光庁長官登録旅行業第55号 TEL 03-3343-0631 FAX 03-3348-2934  
(一社) 日本旅行協会正会

12. そ の 他 :

研修料の領収書は、入金を確認し研修終了後に送付いたします。視察資料は当日集合場所にて、参加証は終了後にお渡しいたします。

参加者には、国内旅行傷害保険を掛けさせていただきます。

事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。

詳しい取引条件を説明した書面を事前にご確認の上お申込み下さい。



## 【幹旋ホテル等の案内図】

